

酒生小「午前5時間制」アンケートのまとめ

R4.12.7

「午前5時間制」の取り組みは、6月の試行から夏休み明けに完全実施となり約半年がたちました。これまでの期間を振り返り、成果や課題を明らかにして、今後の取り組みに生かすために、児童、保護者、教職員に2回目のアンケート協力（1回目は7月 2回目は12月）をお願いしました。今回は、そのアンケート結果をもとに、7月と比較してまとめたものをお知らせします。なお、各アンケートの詳細は本校ホームページに掲載してありますので、ご覧ください。

※【よい】…とてもよい・どちらかといえばよいと回答した割合

【よくない】…どちらかといえばよくない・まったくよくないと回答した割合

問1 午前中に40分授業5コマ、午後にスキルタイム（25分間）を実施することについて、どう思いますか。

	【よい】	7月 ⇒	12月	【よくない】	7月 ⇒	12月
児童	85%		85%	10%		9%
保護者	65%		80%	12%		4%
教職員	100%		100%	0%		0%

〈主な意見〉

- ・午前中に5限すると集中できるしねむたくならないからいい。(児童)
- ・午前中に5時間やることによって、給食を食べて掃除をした後に授業が1時間しか無いから、前よりも集中することができる。(児童)
- ・午前40分だと授業に集中出来る(児童)
- ・授業時間が短くなり、集中して授業を聞くことができるようになった。(児童)
- ・子どもが今の方がいいと言っているため、1コマの授業時間が短くなったことがよいそうです。(保護者)
- ・授業参観で、あっという間の時間だと感じ、子ども達も集中できているように感じたから。(保護者)
- ・授業時間が短縮されたことにより、集中して取り組めると話していたため。(保護者)
- ・中学校での50分授業とのギャップが心配です。(保護者)
- ・子供も教師も午後からの負担が少なく、かつ授業は集中して取り組める有効な手立てになっている。学力向上の効果も期待できる。(教職員)
- ・児童、教師ともに、午後余裕がある。スキルタイムは、決まった活動にパターン化して取り組んだり、授業の内容やその時の学級の状態に合わせて必要な内容を取り上げたり、と弾力的に扱うことができる。(教職員)
- ・スキルタイムで漢字の復習や基本的な計算など授業中には長い時間とりにくい学習にあてることができる。(教職員)

保護者の方の肯定の割合が大きく伸びました。これは、7月ではまだ「午前5時間制」の様子がわからなかった保護者の方にも、少しずつその良さが伝わったのではないかと考えます。児童、保護者、教職員のアンケート結果から共通して言えることは「午前5時間制は授業に集中しやすい」ということだと思います。また、児童、教職員ともに、「午後からの負担感が少ないこと」を良い点にあげています。その負担感の軽減が、午後のスキルタイムや6限目でも見

児童が意欲的に取り組んでいる様子につながっていると思います。

保護者の方が一番心配していることは、「中学校とのギャップ」だと思います。これについては、卒業間近の6年生を対象に、中学校生活に慣れるための期間として50分授業を取り入れていこうと思います。これにより、中学校とのギャップがかなり解消されると考えます。児童に無理がかからないよう様子を見ながら、対応していきたいと思います。

問2 給食の時間が遅くなること（昨年 12:10→今回 12:25）について、どう思いますか。

〈主な意見〉

- ・お腹がすくけど、授業に集中できるからいい。（児童）
- ・お腹はすくけれど5時間終わってから食べるご飯は美味しいのでいいと思います。（児童）
- ・給食が遅くなるので朝ごはんをきっちりと食べることができる。（児童）
- ・最初はちょっと違和感があったけれど、今は、朝のご飯を多めにしたり、遅く食べたりしているので、辛いとは思いません。（児童）
- ・朝いっぱい食べてるけど、少しお腹が空きます。（児童）
- ・お腹が空いて、授業に集中できない。（児童）
- ・朝食をしっかり食べていくようになりました。（保護者）
- ・子供が、空腹になって給食が食べやすいと言っているからいいと思う。（保護者）
- ・普段土日などでは12時30くらいでも普通なので特に問題がないと思う。（保護者）
- ・酒生の児童は、遠距離通学で、朝食を朝早くとっている子も多いと思うので、給食時間はあまり遅くならない方がよいと思います。（保護者）
- ・朝食が少しの時もあるので、途中お腹がすくのではないかと思います。間におやつタイムがあると、集中力アップし、こどもたちのやる気もアップすると思います。（保護者）
- ・慣れたこともあり、特に問題はないと感じる。（教職員）
- ・お腹が空いたという声をよく聞くので、朝ごはんをしっかりとってくるように、再度保護者に協力をお願いするとよい。（教職員）
- ・高学年児童は、あまり影響は感じない。（教職員）

「間食を取らせるのはどうか」というご意見もありましたが、児童の様子を見てみますと、確かにお腹がすく児童もいますが、教職員のアンケートを見てもわかるように、学習に支障が出るような様子は見られません。また、給食が以前よりしっかり食べられるようになったという児童の声もあります。ご家庭で朝ごはんをしっかり食べてくることをお願いするとともに、しっかり食べるには、早起きをする必要がありますので、「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを整える良い機会にさせていただけたらと思います。また、少しでも給食時間を早められるよう、給食準備や校時の検討もしていきたいと思います。

問3 水曜日にロング昼休み（30分間）を設けることについて、どう思いますか。

	【よい】	7月 ⇒	12月	【よくない】	7月 ⇒	12月
児童		96%	98%		2%	2%
保護者		89%	89%		4%	3%
教職員		85%	100%		0%	0%

〈主な意見〉

- ・友達との関係を深めることができるから。（児童）
- ・楽しく他のクラスの子と遊べるので良いです。（児童）
- ・ロング昼休みが増えた事によって6年生以外の人と遊ぶことが増えた。（児童）

- ・本を読んだり、喋ったり、いろんなことが十分に出来るから。(児童)
- ・子供がすごく楽しみにしている。その為に授業も頑張ることができるのではないかと思う。(保護者)
- ・みんなで遊ぶこと、楽しむことの大切さや自分達でルールを考え決めたことが2回のロング昼休みになったことを実感できる。(保護者)
- ・子供達が話し合っって何かをする時間と聞いている。それでよいと思う。(保護者)
- ・外で遊ぶ児童が以前より多くなった。タブレットのルールを決めたことも効果的であったと感じる。(教職員)
- ・児童がとても楽しみにしている。学級の人間関係作りにも役に立っていると感じる。(教職員)
- ・児童が自由に思い思いに過ごせる時間がたっぷりとれて、ゆっくりゆったりできる。児童と話したい時、かなりまとまった時間がとれる。(教職員)

児童、保護者、教職員にも好評なことがアンケート結果からもよくわかります。ロング昼休みを週2回にするにあたって、休み時間のタブレットのルールを全校児童の意見をもとに、決めてもらいました。その影響もあって、最近はたくさんの児童が、外で元気に遊ぶ姿が見られるようになってきました。特にロング昼休みは、ゆっくり自由に遊んだり、学級や縦割り班で一緒になって遊んだりする時間にして、人間関係づくりの良い機会にしたいと考えています。こういう時間こそ、児童に思いやりや社会性を身につけさせる大事な時間になると思います。実際、高学年の子が低学年の子と鬼ごっこをしながら、仲良く遊ぶ姿もよく見られるようになってきました。

今後も学校生活の中でのゆとりや友達関係を深める楽しい時間になるよう働きかけていきたいと思ひます。掃除の時間も大切な教育の時間なので削ることに若干のためらいはありますが、本校ではロング昼休みを人間形成の大事な時間として考え、重要視していきたいと思ひています。

問4 下校時刻が昨年より早くなることについて、どう思ひますか。

	【よい】	7月 ⇒	12月	【よくない】	7月 ⇒	12月
児童		87%	93%		6%	4%
保護者		72%	72%		12%	12%
教職員		100%	100%		0%	0%

〈主な意見〉

- ・友達と遊べるし、習い事前に余裕ができる(児童)
- ・宿題を早く済ませることができるようになったから(児童)
- ・習い事が5時からのはとても助かる(宿題ができる)(児童)
- ・家に帰ってからの時間が増えてうれしいから(児童)
- ・家が遠いので、暗くなる前に帰れるし、危険も減るのではと思うから。(保護者)
- ・習い事の時間までに余裕があるので、宿題を落ち着いてできるから。(保護者)
- ・習い事へ行くにも、友達と遊ぶにしても、帰宅後に余裕があるのはいい。(保護者)
- ・子どもが家に1人である時間が増える。(保護者)
- ・祖母に見守りをしてもらっているから、その時間に合わせようと思つと予定や仕事選びに困ることがある。(保護者)
- ・放課後に研修会や研究会がすぐにできるようになったので、仕事がしやすくなった。(教職員)
- ・冬場は夕方に暗くなる時間が早いから、明るいうちに下校できて安全だと思ひます。帰宅後の時間も増えるので、就寝時間を早めたりしやすいところも良いと思ひます。(教職員)

- ・事務作業や授業準備に、余裕をもって取り組めるから。(教職員)
- ・冬場暗くなりかける前に下校が始められるのが良い。放課後の業務に余裕ができた。(教職員)

下校時刻については、ご家庭の事情も絡んでいるため、多様な意見がありました。ただ、日没の早い冬場のことを考えますと、児童の安全確保のため今の下校時間より遅くしない方がよいと考えます。保護者の方には、児童だけで留守番させることを心配されているご意見もあり、納得できます。どうしても、ご家庭の都合で留守番をさせることができないという場合は、学校へご連絡ください。個別に対応を考えたいと思います。

児童の放課後のゆとりや教職員の授業研究する時間や働き方を考慮することは、これから学校をより良いものにしていくために、ますます重要となってきますので、どうかご理解いただきたいと思います。

問5 午前5時間制で改善した方が良くと思うこと

〈主な意見〉

- ・もう少し給食の時間を早くしてほしい。(児童)
- ・時間が短くなった分、子ども達が集中しやすくなったと思うので、40分で分かりやすい授業をお願いしたいです。(保護者)
- ・朝早くに家を出てくる子もいるので、昼食は早めの方が子供にとっては良いと思う。(給食までの間に、軽食を出すのは難しいでしょうから)(保護者)
- ・五時間制はとて面白い取り組みだと思うが、休み時間の取り方や、6限まであった時の午後からの復習の時間がもっと重要になってくるのではないかと思うので、そこも考えていく必要があると思う。(保護者)
- ・中学校にいったら、いきなり50分授業になります。6年生一月からは、ならしたほうがよいとおもいます。(保護者)
- ・帰りの会からスキルタイムまでの流れがスムーズに行くと良い。(教職員)
- ・スキルタイムから、6校時に入る時に休み時間がないのはどうか。(教職員)

おわりに

アンケートへのご協力のおかげで、「午前5時間制」の成果と課題について検討することができました。

給食の時間をできるだけ早くすることや中学校とのギャップ、全体の校時の流れ等、貴重なご意見をたくさんいただきありがとうございました。給食の時間や全体の校時の流れを見直して、さらに児童が生活しやすくなるよう改善していきたいと思います。また、中学校への接続については、卒業間近になりましたら、6年生は50分授業を取り入れていきたいと考えています。

今後も児童が安心して楽しく過ごせる学校を目指して、魅力ある授業づくりや学校生活の過ごし方について工夫・改善をしていきます。何か気になる点がありましたら、遠慮なく学校へご連絡ください。

お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。今後とも本校の教育活動に、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

【参考資料】

※以下、「午前5時間制のメリット・デメリット」について令和4年11月に、教職員からアンケートを取った結果です。

①教員から見た「午前5時間制」のメリットについて

- ・授業時数の確保ができる
- ・業務時間の確保、精神的なゆとりがある（午後）
- ・午後の時間を有効に使えるのがよいと思う。
- ・放課後に自由な時間が増えること。
- ・自分の授業を見直すきっかけになったこと。
- ・午前中に集中できる
- ・出張等での自習が減ること。
- ・学習内容を整理してテンポよく授業を進めるという視点で授業を見直し改善するきっかけになる。
- ・スキルタイムを学級の実態や様子に合わせて、さまざまな学習や活動に使える。
- ・放課後の時間が確保されていること
- ・帰る時間が早くなった
- ・午後から時間に余裕があるため落ち着いて仕事ができる
- ・午後から出張が入っていても、5時間目まで授業ができる。放課後の会議等、早めの時間から始められる
- ・午後の時間に余裕がある。
- ・集中できる午前中に授業を進められること。

②教員から見た「午前5時間制」のデメリットについて

- ・なし 6
- ・スキルタイムの時数計算とその配分や計画への迷い
- ・朝の時間帯が忙しい。
- ・慣れるまでに時間が必要なこと。
- ・体育、図工等が5分短くなること。
- ・じっくり考えたり話し合ったりしたい授業(たとえば道徳とか)やふり返りを書いたり話し合ったりする授業で時間が足りなくなることがある。ほんの5分と思うが、意外と大きな時間だったりする。
- ・40分授業のため時間内で授業をまとめることがうまくいかないこと
- ・40分の授業では教科書が想定している1時間分が終わらない場合がある

③教員から見た児童の「午前5時間制」のメリットについて

- ・午前中を40分授業にすることで、短い時間で集中して授業に取り組める
- ・1時間の授業が短く集中できる。
- ・早く帰れる
- ・下校時刻が早くなったこと。
- ・頭と心の切り替えがしやすい
- ・5時間目まで集中力がもちやすいこと。
- ・心身共に元気な午前中のうちに、その日の大部分の学習が終わる。また、午後も1時間(1教科)だけということ、集中してがんばれる。

- ・集中して活動出来ている
- ・低学年でも集中できる。
- ・時間割に余裕ができロングの昼休みが設けられた
- ・午前中に授業がまとまっているため集中して取り組むことができる
- ・午前中に5時間終わるので、集中して取り組める。午後はスキルタイムや6時間目だけなので、気持ちが軽いのか、学習への意欲が高いと感じる。
- ・授業時間が40分と短いこと。ロング昼休みがあること。

④教員から見た児童の「午前5時間制」のデメリットについて

- ・なし 5
- ・中学校生活への移行
- ・中学校との授業時間にギャップが生まれること。
- ・支援を必要とする児童にとっての負担増。
- ・体育、図工等が5分短くなること。
- ・昼食時間が少し遅くなる。
- ・大休みが短い
- ・昼休みからスキルタイムに向けて上手く切り替えが出来ずガラガラしてしまう子がいる。
- ・4時間目頃から、お腹が空いたと言い始め、集中できない子も少数だがいる。
- ・高学年児童は中学校進学に向けて50分の授業に対応する何かしらの手立ては必要だと思う。